

潮流



ウォーキングは健康、観光、環境、教育、交流といった五つの分野（5K）で、人と社会に効用をもたらすといわれていますが、その中で最も重要なものは、健康維持・増進効果だと考えられます。

「健康」は「全ての人間の基本的権利のひとつである」（世界保健機関憲章）というところさえ方らみれば、ウォーキング

松田 隆

NPO法人未来副理事長
鳥取県中部医師会副会長

は誰でも、いつでも、どこにでも行動しようといこでも、手軽に取り組める健康法で、人間の基本的権利を満たすものではないかと思えます。

鳥取県は、都会のスローク社会にはない、ゆったりとした時の流れを感じることができます。歩いて、歩く喜びや楽しさをく目線でのスロークライフ

子どもに教える「歩育」

子どもに教える「歩育」

子どもに教える「歩育」

ウォーキング立県とっとり

の中から車社会を見直し、豊かな自然と触れ合うことで心が癒やされ、地球環境を考えることに結びつきます。

（特にWHOの健康都市

鳥取県が日本一の健康県

鳥取県が日本一の健康県

のや人との出会い、交流から新しい発見があり、多くのものが見えてきます。地球環境をグローバルに考え、鳥取県から口

の活性化が図られると

鳥取県が日本一の健康県

鳥取県が日本一の健康県

(倉吉市)